



安全とあなたの未来を支えます

nite

National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

2026年度 採用案内

次の100年へ。安全と未来を支える——

1928年、前身となる輸出絹織物検査所からスタートしたNITE。
NITEはこの100年の間、時代と社会のニーズに呼応して変化し、
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けてきました。
NITEの財産は、培ってきた確かな技術と情報の信頼性、
そして、よりよい社会のために考えて行動する“人”の力。
未来に向けた“新しい力”となるのは、あなたたちです。
ともに安全と挑戦を支えていきましょう。次の100年へ。

■ NITEの基本理念

確かな技術と信頼できる情報をもとに
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けます



Part1 組織概要

NITEとは	3
NITE組織図	4
リーダーメッセージ	5
デジタル技術とデータの利活用推進	6

Part2 業務紹介

■製品安全分野	7
■化学物質管理分野	9
■バイオテクノロジー分野	11
■適合性評価推進分野	13
■電気安全評価分野	15
■マネジメント分野	17

Part3 働き方

座談会「女性職員が語る NITEの魅力、働き方」	19
コラム「NITEの役割、私の役割」	22
アンケート「若手職員に聞いてみました」	23
採用関連Q&A	25
求める人材像／採用実績	26

※本パンフレットに記載の組織名及び分野名は、2026年4月以降の名称です。企画管理部は経営企画部、認定センターは適合性評価推進センター、国際評価技術本部は電気安全評価センターへ変更となります。

※本パンフレットは2026年2月に作成しています。職員の配属は2026年4月以降の組織名を用いています。

撮影(表紙・1～2ページ):NITE本所 屋上にて

NITEとは

“安全とあなたの未来を支えます”をスローガンに掲げ、ニーズ、シーズの変化に柔軟、かつ迅速に対応し、確かな技術と情報で、より安全で豊かな社会を目指す——それが、NITEです。

NITEとはどんな組織？

正式名は「独立行政法人製品評価技術基盤機構」です。「NITE」は機構の英語名のNational Institute of Technology and Evaluationのそれぞれの単語の頭文字を取ったもので、「ナイト」と読みます。

NITEは経済産業省所管の独立行政法人で、役職員は国家公務員です。

どんな仕事をしているの？

身の回りの製品で起こった事故の原因を調査する。洪水などでの水没を想定して、大型蓄電池の試験をする。新しい化学物質の安全性を審査する。微生物を保管して、産業に活かせるよう提供する。認証機関の試験能力を審査する。AI(人工知能)活用などにより業務のデジタル化を推進する。より働きやすくするために職場環境を改善する。

これらは、NITEの業務のほんの一部です。確かな技術と信頼できる情報をもとに、バラエティ豊かな5つの技術分野の専門性で、またその総力を結集して、くらしの安全と未来への挑戦を支える多彩な仕事をしています。

NITEの職員になるには？

NITEは国家公務員採用一般職試験の合格者から採用を行っています。行政区分及び全ての技術区分から広く採用しています。

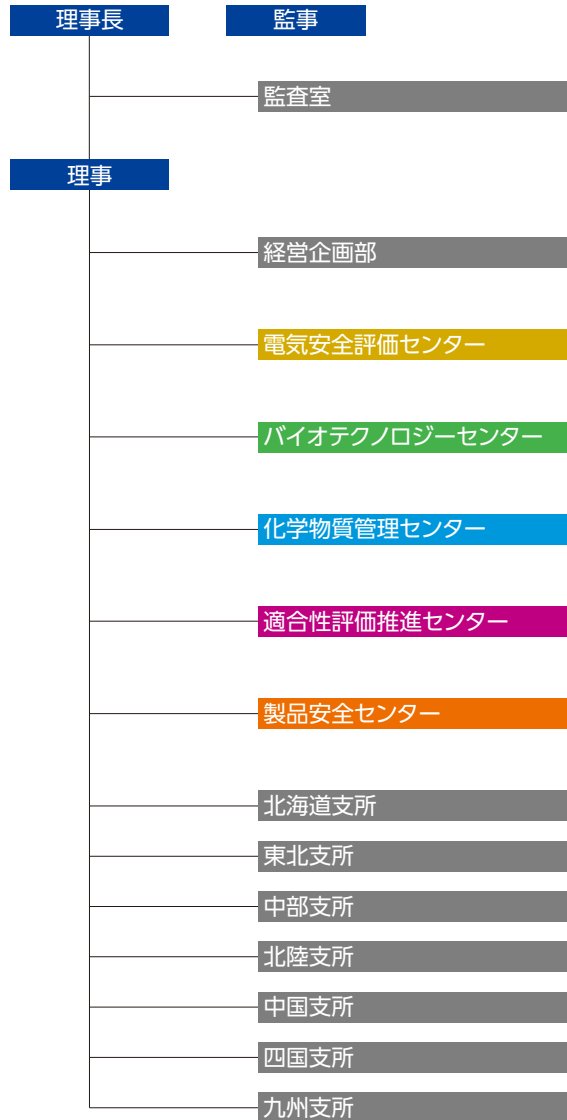


NITE組織図

職員数(令和8年1月時点)

常勤職員 446人

非常勤職員 246人



リーダーメッセージ

■ 理事長メッセージ

NITEの前身は、100年前の我が国の主要輸出品であった絹織物の品質維持を目的に各生産地の検査所として設立された、地域と世界を結ぶ連携拠点です。

伝統的に変化に敏感で、近年ではDXやAIの活用により既存事業から余裕を生み出し、常に新たな成長分野に積極的に取り組んできました。

現在は、経済産業省唯一の行政執行法人として、柔軟で小回りの利く特殊な機能を発揮し、外部との連携によるシナジーの創出を通じて、くらしの安全と未来への挑戦を支えています。

また、ライフスタイルに合わせて誰もが活躍できるよう、

ワーク・ライフ・バランスに優れた仕事環境の構築に力を入れています。

NITEは将来課題を自ら探索し挑戦し、成長できる職場です。

くらしの安全の実現と世の中の変化を先導する活動に是非参加してください。

理事長 長谷川 史彦



■ 部門長メッセージ

製品安全分野

豊かなくらしをつくる 製品安全

製品安全分野では、日常生活で使われる製品の多様化や商取引のボーダーレス化などに伴う課題に対応し、事故原因究明技術のアップデート、情報発信の強化、国内外の関係機関との連携などによって、製品事故の防止に向けて多角的に取り組んでいます。私たちと一緒に、技術の面から製品安全文化を醸成し、安全で豊かなくらしを創出しましょう。

化学物質管理分野

環境保全と経済発展の 両立に向けて

みなさんが普段使う全てのものは、化学物質できています。適切に使えば生活がより豊かになりますが、誤って使うと人体や環境に悪影響が出ることもあります。化学物質管理分野では、化学物質の適切な利用により、環境の保全と経済活動の発展の両立を目指しています。一緒に未来の化学物質管理分野を考えていきませんか？

バイオテクノロジー分野

多様な社会課題を 微生物で解決

バイオテクノロジー分野は、微生物保有数が世界トップクラスの生物資源機関として、微生物や関連データの提供、微生物利用環境の整備、技術的支援を行い、我が国のバイオ産業を支えています。また、専門的知見を活用してCO₂を原料としたバイオものづくりや海洋生分解性プラスチックの評価法開発ごみ問題など、我々を取り巻く課題を解決するための国家プロジェクトにも参加しています。私たちと一緒に日本のバイオ産業の発展に取り組みませんか。

適合性評価推進分野

モノが売れる仕組みをつくる 「認証・認定」

適合性評価推進分野では、国際ルールに基づく「認定」の提供や、政府・業界に対する「認証・認定」の助言を通して、日本のモノが売れる“信頼性ある”仕組みづくりや、水質基準の管理・EU規則など国内外規制への対応に取り組んでいます。私たちと一緒に未来の産業や社会を形作るため、あなたも適合性評価推進分野で新しい価値協創をしてみませんか。

電気安全評価分野

グリーントランスフォーメーション (GX)を「安全」で支える

産業構造・社会構造の大転換を図るGXに向けて、重要となる再生可能エネルギーの主力電源化を支える最先端の蓄電池システムの安全に係る試験評価業務を行うとともに、電気事業における電力安全行政を技術面から支援する業務を行っています。GX実現に向けて、みなさんのチャレンジ精神をNITEで活かしてみませんか。

デジタル技術とデータの利活用推進

NITEは、デジタルに対する職員の知識とマインドを高める取組や、環境整備などにより、デジタル技術とデータの利活用を推進しています。

AIやIoT等のデジタル技術とビッグデータの利活用により、新たな製品やサービスを生み出し、経済と社会を急速に変革させるデジタルトランスフォーメーション(DX)が世界中で進んでいます。

NITEは、確かな技術を持つ現場と100年近い業務の中で蓄積したデータを強みとする、DXと親和性が高い組織です。これらの強みを活かし、新たな価値の創造・提供や業務の効率化・高度化を図るため、NITE全体でDXを推進しています。そのDX推進の要の1つが人材育成です。DXを実現するためには、経営者である役員と現場の職員一人一人がデジタル利活用のための知識とマインドを持つことが不可欠であり、NITEの全員がデジタル技術やデータを使いこなせるようになるべく、デジタル人材の育成を行って

DXを前に進める「人づくりと環境づくり」

DX推進室の役割は、新しいデジタル技術をいち早く取り入れ、現場で実際に使える形にしていくことです。管理職として特に力を入れているのが人材育成です。DXを進めるには、職員一人ひとりのデジタルスキル向上が欠かせないため、最新技術・スキルの習得を目的とした研修の企画・実施に力を入れています。また、若い職員が力を発揮できるよう、興味のある分野や挑戦したいテーマは積極的に任せ、組織全体としてDXを前に進めていく環境づくりを大切にしています。

最新のデジタル技術を現場の力に変えていく

具体的な取り組みとしては、クラウドサービスを活用した予算管理の効率化や、RPAを導入した定型業務の自動化支援など多岐にわたります。DX推進室のメンバーは20代の若い職員が中心で、デジタルへの感度が高く、新しい技

術を学ぶ意欲にあふれています。変化の早いデジタル分野で、常に新しい技術に触れながら仕事ができることは大きな魅力です。特に生成AIは、社会全体が同時にスタートしている分野でもあり、キャッチアップしていく過程そのものに面白さを感じています。

人材育成以外にも、生成AIを活用してこれまでの業務を変えていくための取組、失敗を恐れずにデジタル技術やデータの利活用のためのアイデアを職員自ら提案して実現に向け取組める制度、デジタルに関連する知識や情報を得るための講演会等、職員一人一人のレベルアップとチャレンジを後押しする様々な機会を提供しています。これにより、職員の提案をきっかけに新たなデジタルツールの導入検討等、業務での検証・活用が実際に進んでいます。

術を学ぶ意欲にあふれています。変化の早いデジタル分野で、常に新しい技術に触れながら仕事ができることは大きな魅力です。特に生成AIは、社会全体が同時にスタートしている分野でもあり、キャッチアップしていく過程そのものに面白さを感じています。

成長と働きやすさが両立できる職場

公務員は決められた仕事をこなすだけ、というイメージがあるかもしれませんが。しかしDX推進室では挑戦する機会が多く、自分から提案すれば実現できる環境があります。さらに、DXは働き方そのものを変えていく取り組みでもあり、ワークライフバランスのとれた職場づくりにもつながっています。NITEでは、子育て支援制度も充実しており、男性の育児休業も当たり前となっており、仕事と家庭を両立しやすい環境です。新しい技術にワクワクできる方と、NITEと一緒に働けることを楽しみにしています。



2013年入構
経営企画部 情報統括課
デジタルトランスフォーメーション推進室
デジタルトランスフォーメーション推進室長

大内 静香



製品安全分野

安全な生活は、製品事故の未然防止と再発防止から

私たちの生活の場には多種多様な製品が存在していますが、製品の使用時に事故が発生することも少なくありません。製品安全分野では、消費生活用製品に係る事故の情報収集、調査・分析を行い、製品事故の再発防止や未然防止に向けた情報を発信することで、安全で豊かなくらしの創出に貢献しています。

1 製品事故の情報の収集、調査・分析、公表

電気製品、ガス・石油機器、日用品などの消費生活用製品で発生した事故について、消防や警察、消費生活センター等の関係機関の協力を得ながら情報を収集するとともに、事故品の電子回路構造、機械的強度、化学的性質の分析といった原因究明調査を行っています。調査にあたっては、これまでに蓄積した調査データにAI技術を活用するなどして、効率化を図っています。こうして実施した調査の結果は、製品事故情報の検索ツール「NITE SAFE-Lite」においてNITEのホームページで広く公表しており、事業者のより安全な製品づくりなどに役立てられています。

2 国の法施行業務・製品安全施策への支援

NITEは行政執行法人として国の各種法施行業務を支援しており、製品安全分野では「製品安全4法^{*}」に基づく製造事業者等への立入検査を行い、法令遵守状況を確認しています。

また、事故情報のリスク分析・評価や製品に共通する危険因子の解析、ヒヤリハット情報の分析を実施し、技術的知見をもって経済産業省に行政施策への提言を行っています。同時に、民間団体等が行う製品安全に係る技術基準・規格の作成及びその普及支援も行っています。

特に近年は、非純正リチウムイオンバッテリーなど、事故多発傾向にある製品に対する国の技術基準作成や、乳幼

児や高齢者等が関係する製品事故の未然防止のための技術基準・規格等の普及啓発を支援しています。

3 消費者向け注意喚起

調査・分析の結果、誤った使い方や不注意が原因で多発していることが明らかになった事故については、注意喚起のための記者説明会を行い、テレビや新聞などマスメディアを通じて、消費者に事故の事例や製品の安全な使い方を紹介しています。夏にはアウトドアで発生する事故、冬には暖房器具に関する事故など、季節や流行に合わせた注意喚起を行うことで、消費者に自分事ととらえてもらえるように努めています。

また、最近ではYouTubeやX(旧Twitter)等SNSの活用や、民間の事業者や業界団体とのコラボレーションによる注意喚起にも取り組んでいます。

*製品安全4法:「消費生活用製品安全法」、「電気用品安全法」、「ガス事業法」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」



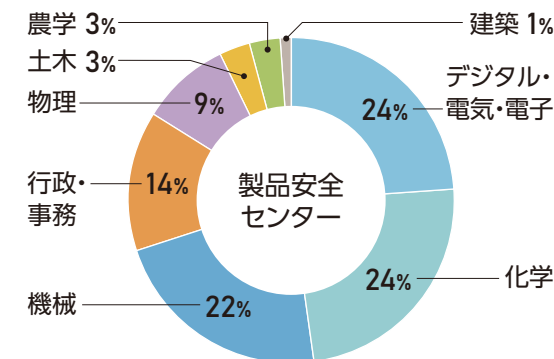
再現実験映像等



NITE SAFE-Lite



■試験区分比率



NEW TOPICS

製品事故の情報を調べられる仕組みを運用

より安全なくらしのために、製品事故の要因を知ることがとても大切です。そこでNITEでは、保有する事故情報を整理し、分かりやすい形で提供するシステム「SAFE」を運用しています。SAFEの情報は、事業者がより安全な製品を製造するために、製品の設計・開発の段階から参考にしていただくことができます。またスマートフォンやパソコンから簡単にアクセスできるため、消費者が普段使う製品に異常を感じたときにリコール情報検索としても活用していただき、事故の未然防止につながることを期待しています。

製品安全分野では、安全な製品を“つくる”ことと、安全に製品を“つかう”ことを支援しています。



社会の安全に貢献していることを 実感できる

2016年入構(試験区分:デジタル・電気・電子)
製品安全センター
事故調査課

嶋田 博之

広く安全に携われる仕事がしたい

私は、前職では民間の製造業企業に勤務しており、製造設備の保全業務に携っていました。周りには業務中の怪我を経験した人もいて、漠然と「安全」ということを考えるようになりました。社内だけの安全ではなく、もっと広く安全に携われる仕事はないかと考えていた時に、NITEの製品安全センターの存在を知りました。製品安全センターでは、安全性を検証するために再現実験などを行うこともあるため、製造業で培ったスキルや経験を活かせるのではないかと考え、NITEへの入構を決めました。

現在は、一般消費者の方が購入・使用する身の回りの製品に関する製品事故の事故調査を担当しています。具体的には、製品の使い方や、製品自体の不備が原因で発生したと疑われる事故について、事故原因を究明するための調査を行います。場合によっては、消防などと合同で調査することもあります。調査結果は取りまとめて経済産業省に報告し、必要な場合には経済産業省から事業者に対して行政上の措置が講じられます。製品事故を調査した結果、原因が判明することはやりがいの一つですが、事故の原因となった製品に再発防止措置が講じられた時には、社会の安全に貢献できたと実感します。

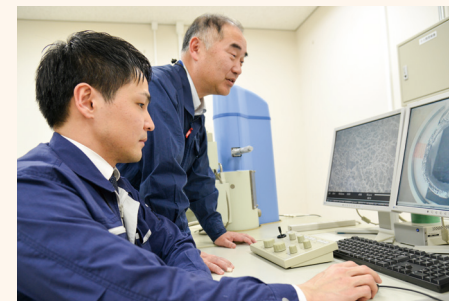
いろいろな方法で学ぶ機会がある

私は大学で電気系を専攻していたので、電化製品などの構造や動作原理が理解でき、製品事故調査を行う上でも役に立っていると思います。

NITEでは、いろいろな方法で学ぶ機会があり、若手、ベテランを問わず、研修などに参加しています。製品事故調査そのものについては、長く事故調査に携わっているNITEのベテラン職員に、OJTをしていただくこともあります。また、外部のセミナー等に参加し専門性の高い学術的な理論などを学ぶこともあります。私は、電気に関する知識を身につけたかったので、第三種電気主任技術者の資格を取得しました。NITEでは、資格取得費用等のサポートもあるので取り組みやすいです。勉強を通じて専門性も高められたと思いますので、今後も資格取得にチャレンジしていきたいと思っています。

民間企業とのコラボによる注意喚起も

これまでで印象深かった業務は、個人間取引(CtoC)のためのマーケットプレイスを運営する民間企業に、長期派遣研修として半年間勤務したことです。製品安全の観点から、法令に抵触する危険物など、安全性に問題があるもの



専門装置を用いながら
製品事故の原因を
調査する

が売買されないよう監視するために、ルールを作るお手伝いをしました。利用者が安心安全に利用できるプラットフォームの構築のために、企業側に求められる対応やその難しさを経験できました。

製品安全分野では、民間企業とのコラボレーションもあります。たとえば、NITEはアマゾンジャパン合同会社と製品安全に係る活動の協力に関する協定を締結しています。これに基づき、Amazonから共有されたヒヤリハットなどの製品安全情報について、製品事故の未然防止に向けて分析しています。また、NITEはその分析結果をAmazonに提供し、誤使用防止のための助言を行っています。

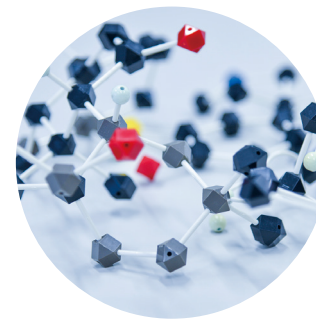
職場の雰囲気はすごく良く、アットホームな感じですよ。またNITEは、民間を経験してきた方も多く、現場で培ったことなどを聞けるのでとても成長できます。製品安全センターでは月に1回、民間企業経験者が、自分が携わってきた仕事や、NITEへの提案などを語ってくれる場があります。オンラインでも傍聴することができ、NITEの中だけでは学べない知識なども吸収させてもらっています。



学生さんへ
学生さんに「NITEを知っていますか」と聞くと、ほとんどの方が知りません。私が所属している製品安全センターは、ニュース等でも動画が流れるので知っている方もおられると思いますが、NITEには製品安全以外にもいろいろな分野があり、みなさんの生活や日本の産業に役立つ仕事をしています。これをきっかけに、ぜひ関心を持っていただけたらうれしいです。

化学物質管理分野

化学物質による人の健康と環境への悪影響を最小限に



化学物質は私たちの生活を豊かにする一方で、使い方を間違えると悪影響を与えることがあります。化学物質管理分野では、適正な化学物質管理の推進とわかりやすい情報発信で、みなさんの安全な生活を支え、経済社会の発展に貢献しています。

1 化学物質管理に関する3つの法施行の円滑な推進

■「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」(化審法) 関連業務

化学物質によるリスクの最小化に貢献するため

- ・新たに開発された化学物質の安全性に関する審査
- ・規制対象となる化学物質への名称の付与
- ・既に市場に出ている化学物質のリスク評価
- ・化学物質の管理状況を確認するための立入検査などを行っています。

また、既に明らかになっている化学物質の安全性に関する情報を収集、解析し、実測試験をせずに化学物質の安全性を予測する手法の開発や、政策への利活用を検討しています。



■「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(化管法) 関連業務

事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境保全上の支障を未然に防止するために、事業者から届出をされた化学物質の環境への排出量等の情報(PRTRデータ)の記録、集計・解析を行っています。PRTRデータを活用することにより、事業者や自治体等による化学物質管理を促進し、地域住民のくらしの安全に貢献しています。

■「化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律」(化学兵器禁止法) 関連業務

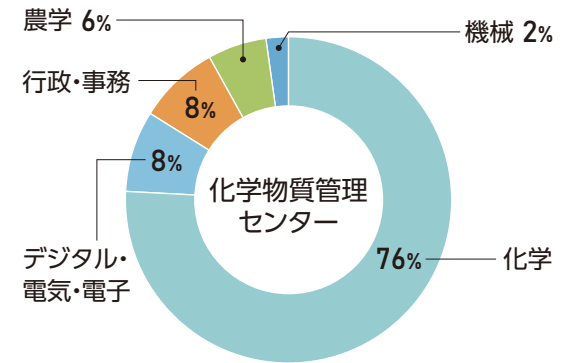
「化学兵器の開発、生産、貯蔵及び使用の禁止並びに廃棄に関する条約」(化学兵器禁止条約)に基づいて設立された国際機関(OPCW)による検査の立会いや、国内の化学兵器禁止法に基づく立入検査を行うことで、化学兵器の原料となりうる化学物質の適正管理を促進し、国際貢献をしています。

2 化学物質総合管理情報の整備・提供

化学物質の安全性に関する理解を促進するために、法規制や有害性に関する情報を、次の仕組み等を通じて提供しています。

- ・データベース「化学物質総合情報提供システム」(NITE-CHRIP)
- ・Webツール「GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支

■試験区分比率



援システム」(NITE-Gmiccs)

また、化学物質管理の国際的な協調を進めるため、経済産業省と連携して、経済協力開発機構(OECD)の環境保健安全プログラムなどへの参加や、アジアや欧米諸国との二国間協力関係の構築などに積極的に取り組んでいます。

/// NEW TOPICS ///

海外、省庁、事業者と連携した取組

- ・化学物質の安全性評価に関する専門家会合(OECD主催)に出席し、当機構からの出向者が事務局を担当しました。
- ・事業者における適正な化学物質管理の推進を目的とした「QSAR/リードアクロス講習会」を開催しました。
- ・関連省庁や関連業界と調整しつつ国際連合の専門家委員会に参加し、化学物質管理に関する世界的なルールの設定に関与することで、得られた情報を国内での化学物質管理推進に活用しています。



企業、国民など多くの人に 関わることがやりがい



技術色の高い仕事に就きたくてNITEへ

大学は化学専攻でした。研究で有害化学物質(環境ホルモン)について扱っていました。化学物質の危険性について興味があり、また国家公務員一般職の中で、技術色の高い仕事に就きたいと思っていたため、NITEを志望しました。

大学で学んだことのうち有機化学については、特に反応機構や命名法などの分野が、現在の業務に直結していると感じています。また、学生時代の研究を通じて、化学物質が生態へ及ぼす影響などについて携わったことも、現在の業務に役立っていると思います。



みなさんは、十年後、二十年後、どんな自分になりたいですか。もし、この採用パンフレットを眺めていて、将来のなりたい自分と近いイメージを持った、興味が出てきた、ということでしたら、ぜひ説明会にも参加してみてくださいね。

ちなみに私は「仕事もしつつ、プライベートも大事にする、そんな生活を送っている自分」になりたいと思いがら、就職活動をしていました。今の私は、あのころ思い描いていた自分に多少は近づけたかな……。

行政や法律に関わる仕事

現在は、化審法という法律に関連する業務を行っています。具体的には、化審法に基づいて、化学物質のリスクを評価する業務を行っており、国内で化学物質をどう取り扱っていくのがよいか、危険性と有用性の両面から議論するためにデータをまとめたり、資料を作成したりしています。また、化学物質を取り扱う事業者は、化審法に従い、毎年化学物質の取り扱い量を国に届け出なければならず、法律の解釈や届出ルールなど、事業者からの問い合わせにも対応しています。

NITEでは、技術的な観点から行政や法律に関わることができません。化学物質を扱ういろいろな企業への支援、国民に対してリスクを分かりやすく伝えるなど、多くの人に関わることにやりがいを感じています。

畑違いのITにも

化学物質は何万種類もあり、それらがどういう法律で管理されているかを把握するために、データベース化して公開しています。この化審法のデータを管理しているシステムに携わったことは、これまでの仕事の中で特に印象に残っています。それまでは先輩職員の後で業務の補助を行う立場でしたが、初めて私が主担当を務めました。私はIT関連の知識はまったくなかったので、システム担当者との円滑なコミュニケーションのためにIT系の勉強にもチャレンジし、システムの仕様変更などでは、担当部署に足を運んで直接話し、イメージを共有しながら業務を進めました。

業務で困ったり、悩んだりするときは周りにいる専門家の上司や同僚に相談しています。みなさん快く相談に乗っ

てくださいますし、私だけでは出てこなかったアイデアが上司や同僚に相談することで思い浮かぶこともあり、とてもありがたいと思っています。

組織に貢献したくてチャレンジ

NITEは、育児制度も利用しやすいです。私も2人の子どもがいますが、周りにも働くママさんが多く、みなさん時短勤務制度などを使って仕事と育児を上手く両立されています。週の半分はテレワークをしており、発熱などで保育園から急な呼び出しがあっても、この制度によってすぐに対応できるので助かります。育児時間、育児短時間勤務を状況に応じて選べるのも良いですね。私が活用する育児時間は、小学校3年生まで対象なのでありがたいです。

今、私も中堅という年代に差し掛かってきて、もう少し組織に貢献したいと考えています。そこで日々の業務をしながら、もっと仕事を効率的、効果的に進めていくための方法などについて検討したり、センター内の勉強会を企画・運営したりしています。研修や人材育成に関して力になれることがあればいいなと思っています。若手でも「こんなことがやりたい!」と手を挙げやすく、チャレンジしやすいことは、NITEの良さの一つだと思います。



バイオテクノロジー分野

生物資源を産業に活かす

食品・化粧品・医薬品など身近なところで活躍している微生物は、なくてはならない存在です。バイオテクノロジー分野の使命は、産業界における微生物とその関連情報の利活用を支援することにより、社会問題の解決や経済発展に貢献し、持続可能な社会を実現することです。



1 バイオエコノミー社会実現への貢献

近年、バイオテクノロジーとデジタル技術の融合によって、社会課題の解決と持続的な経済成長を両立させる「バイオエコノミー」が世界的に注目されています。我が国は国家戦略として、「微生物」などの生物資源のポテンシャルを最大限に活用し、バイオエコノミー社会の実現を目指す「バイオエコノミー戦略」を策定し、推し進めています。

NITEは経済産業省によるバイオ政策の下、蓄積した技術や知見を活かして我が国バイオ産業の健全かつ中長期的な発展に貢献しています。

2 生物資源データプラットフォームをハブとしたバイオとデジタルの融合

NITEは世界トップクラスの生物資源機関(BRC)として、約9万7千株の微生物を保有し、提供しています。

また、これらの微生物の特性、物質産生能、ゲノムなどの情報に加え、企業や大学等が保有する有用な微生物とその情報を集約した「生物資源データプラットフォーム(DBRP)」を公開しています。

生物資源とそれに関する情報の両方をユーザーが利用しやすい形で提供することで、生物資源とデジタル技術を用いた効率的な物質生産などのバイオものづくりを推進しています。また、微生物とその情報を持つ方と、使いたい方を

つなぐことにより、新たな連携によるイノベーション創出を支援しています。

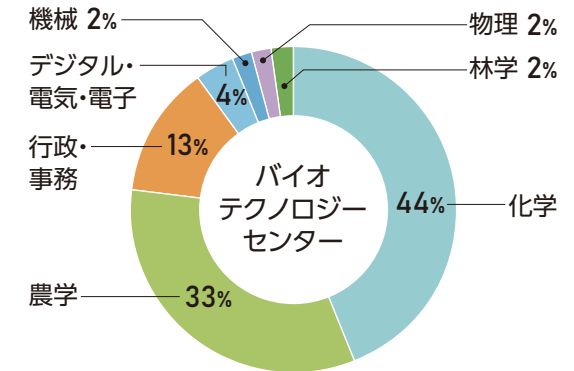
3 特許法及び国際条約に基づく特許微生物寄託機関

微生物を利用した発明において特許出願では、第三者が容易に入手できる場合を除き、定められた寄託機関にその微生物を寄託する必要があります。NITEは、特許法及び国際条約における我が国唯一の特許微生物寄託機関(NPMD、IPOD)として、微生物の寄託を受けて保管し、第三者に提供することでバイオ産業の発展に貢献しています。

4 生物資源に関する安全性の確保

バイオエコノミー社会の実現には、遺伝子組換えなどのバイオテクノロジーが重要な役割を果たす一方で、生物多様性に及ぼす影響を考慮しなければなりません。そのため、遺伝子組換え生物の使用においては「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」(カルタヘナ法)により、拡散防止措置の大臣確認を受けるなどの対応が必要です。NITEはカルタヘナ法に基づく経済産業省の審査が円滑に進むよう、事業者からの申請に対して、技術的支援や事前相談等を実施することにより、微生物をより安全に使用できる環境整備を支援しています。

■試験区分比率



NEW TOPICS

カーボンニュートラル実現に向けた微生物・データの探索と企業との協調

微生物の中には二酸化炭素(CO₂)を栄養源として生育する種類もあります。現在、これらCO₂固定微生物を利用して化合物を生産することで、CO₂量を抑制する技術開発のための国家プロジェクト(グリーンイノベーション(GI)基金事業)が進行中です。NITEは新たなCO₂固定微生物を探索するとともにその関連データを収集し、CO₂を原料としたバイオものづくりを目指す企業等に提供する事業を行っています。

また、微生物に関する専門的知見を活用して、大阪・関西万博日本館におけるバイオものづくりや資源循環の重要性を伝える展示に協力しました。



「研究が好き」を、 世の中に役立つ力に

業務の意義を学び、専門性を発揮できる現場へ

大学では農学系の学部にも所属し、培養細胞やヒト細胞を用いた機能解析のほか、幹細胞がどのような過程を経て各組織へ分化していくのかといった研究に取り組んでいました。培養や解析といった研究そのものに強い魅力を感じていたことが、NITEへの入構を決めた理由の一つです。

入構後、最初に配属されたのは企画管理部でした。NITE全体の実績の取りまとめを担当し、1年後に当初の希望であったバイオテクノロジーセンターへ異動しました。NITEがどのような業務を担い、成果をどのように社会へ届けているのかを最初に理解できたことは、後から振り返るととても良い機会だったと感じています。

NITEは、世界最大級の微生物保存機関として、研究者や企業から寄託された約9万7千種類もの微生物を保存しています。微生物はそれぞれ学名が正しいか、純粋であるか、異物や不純物が混入していないかなどをNITEで確認し、問題がなければ保存した上で、研究や製品開発のために企業や研究機関へ提供しています。取り扱っている微生物は、細菌（バクテリア）、アーキア、糸状菌、酵母、微細藻類等で

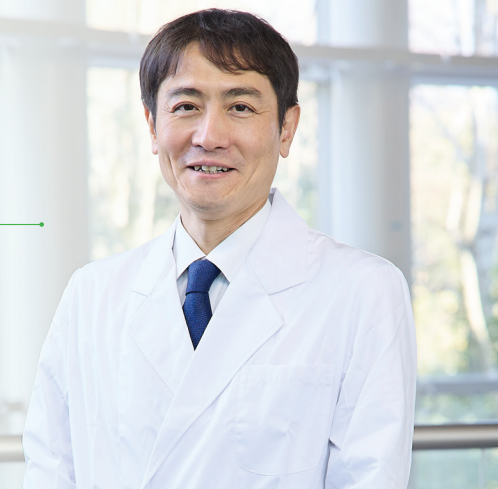
学生の
みなさんへ

NITEは経済産業省系の機関として、産業や技術の現場に近い立場で研究を行っています。研究そのものの面白さだけでなく、研究や業務の実績に加えバイオ産業の動向を経済産業省と共有し、「より良い社会をつくるためには何が必要か」を考え、政策への提案に関わることができる点は、大きなやりがいのひとつだと思います。自分の研究が社会を動かせるきっかけになるということが、NITEで働く意義だと感じています。



2006年入構（試験区分：農学）
バイオテクノロジーセンター
生物資源利用促進課 主査

山崎 敦史



大きく分類され、NITEではそれぞれに担当者が配置されていて、私は現在、カビの仲間である糸状菌を担当しています。

微生物の特性を生かし、産業の可能性を広げる

糸状菌は農薬や抗生物質の研究開発分野で広く利用されている微生物です。最近では、麹菌等の食経験のある糸状菌を用いて、食品利用するフードテック研究に注目が集まっています。保存方法や培養条件、性質に関する情報はNITEでデータベース化されており、企業からの問い合わせや要望の多い微生物に対しては適切な菌を紹介しています。その後、企業が目的に合わせて機能解析を行い、産業化へとつなげていただくことが理想的な形です。

また、糸状菌にはセルロースを分解するセルラーゼを産生し、セルロースを様々な物質生産に活用できる糖へと変換する能力があります。セルロースはバイオマス資源としての可能性が高い一方で分解が難しいという課題がありましたが、糸状菌の力を活用することで、新たな産業利用の可能性が広がると期待されています。微生物を分析することによって得たゲノム情報と生理性状や物質生産に関する情報をAIに学習させることで、私たちが微生物の性質等について理解を深めることを可能にしたり、有用物質を高生産させるための改変提案をさせるという技術も進展したりしていて、新しい物質の発見や生産量を高める方法を探る研究が進んでおり、私自身も強い関心を持っています。

研究成果を社会へつなぐ挑戦をこれからも

現在は糸状菌を担当していますが、以前は酵母の探索にも携わっていました。細胞内に油脂を大量に蓄積する特性を持つ油脂酵母について、全国の土壌から分離した酵母の遺伝子を解析し、種分布や生育温度との関連性を調査し、論文として発表しました。その成果が評価され、日本菌学会主催の「平塚賞」を受賞できたことは、大きな喜びであると同時に、自身の研究への自信にもつながりました。将来的には、油脂の生産性と分類学的な区分との関連性について、引き続き解析を進めていきたいと考えています。

油脂酵母の研究開発は世界的に進められており、競争も激しくなっています。日本でも研究は進んでいますが、産業化に向けては企業を中心とする産官学で協力して解決すべき課題が多く存在しています。NITEとしては、分類学的情報や油脂生産性との関係性などの知見を公開することで、産業化の加速により一層貢献していきたいと考えています。

現在は微生物とその情報の提供が業務の中心ですが、今後は産業化開発に向けた微生物の分析手法の提案や他の研究事例の紹介などを通じて、より産業に寄り添った取り組みへと発展させていくことが目標です。

適合性評価推進分野

測定データや製品の品質の信頼性と日本の産業発展を支える「認証・認定」

貿易や取引手続きの統一化・簡素化が推進されるとともに、企業等のコンプライアンスも厳しく求められています。適合性評価推進センターは国際ルールに基づく「認定」を通して測定データや製品の品質の信頼性を支えるとともに、政府・業界主導による日本のモノが売れる仕組みづくりを支援し、産業の発展に貢献します。

1 「認定」とは

生活の中で下のような抗菌・抗ウイルスマークを目にしたことがあると思います。このような製品の性能の確認には、第三者（試験所等）による試験結果が活用されます。適合性評価推進センターに設置されている認定センター（IAJapan（アイエイジャパン：International Accreditation Japan））は、国際基準に基づき、その試験所等の品質管理体制や正しく試験を実施する能力があり、公平性及び一貫性のある運用をしているかを審査し、その信頼性にお墨付きを与えています。このお墨付きを与える行為が認定です。



2 NITEが運営する登録・認定業務

適合性評価推進センターは、試験・校正データの信頼性確保のため、国際基準ISO/IEC 17025^{*1}等に基づいて試験所・校正機関などを登録・認定する政府系の機関です。次に示す法令に基づく登録・認定業務を運営しています。

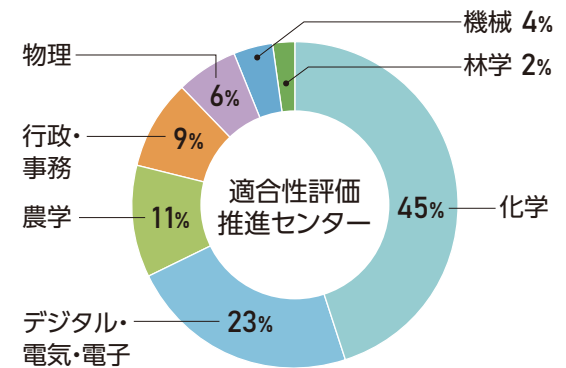
- ・産業標準化法（JIS法）：製品試験を行う試験事業者の登録制度（JNLA）
- ・計量法：計量器の校正等を行う校正事業者の登録制度（JCSS）
- ・計量法：ダイオキシン類等極微量物質の分析を行う特定計量証明事業者の認定制度（MLAP）

これらに加えて、政策的取組みが必要であり法令に基づく登録・認定では対応できないニーズに対応するため、製品評価技術基盤機構認定制度（ASNITE）を運営し、事業者の製品開発や海外展開の支援、社会課題の解決に貢献しています。

3 多角的承認取決めへの取組

IAJapan自身もISO/IEC 17011^{*2}という国際基準に基づくマネジメントシステムに従って運営しており、認定機関での多角的承認取決めのもと、4年ごとに国際評価チームの厳しい評価を受けています。これにより、IAJapanが認定した事業者が発行する試験報告書・校正証明書は、国際的に受入可能なものと認められます。

■試験区分比率



また、適合性評価推進センターの職員も他国の認定機関の国際評価チームに参加して、多角的承認取決めの維持に貢献しています。

*1 ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項
*2 ISO/IEC 17011 (JIS Q 17011) 適合性評価-適合性評価機関の認定を行う機関に対する要求事項

4 政府・業界主導による戦略的なルール形成の支援

適合性評価推進センターでは、政府・業界に対する標準化・認証・認定に関する助言を通して、政府・業界主導による戦略的なルール形成を支援し、「日本のモノが売れる“信頼性ある”仕組みづくり」に貢献します。

NEW TOPICS

社会的ニーズに対応した認定プログラムを新設

適合性評価推進センターでは、政策的・社会的ニーズに対応した新たな登録・認定プログラムを創設しています。近年では、海洋生分解性プラスチック試験の試験所認定プログラム（プラスチックによる海洋汚染問題の解決）や、放射線治療用線量計の校正機関登録プログラム（医療現場における放射線治療精度の向上）を新設しました。



社会の信頼を判断する 責任のある仕事を担う

2013年入構(試験区分:化学)
適合性評価推進センター
認定センター 主任

大西 翔



適合性評価推進分野

安全・安心な生活基盤を支える認定業務

大学では化学を専攻し、その後NITEへ入構しました。「技術を通して国の業務に携わりたい」「政策に関わる仕事がしたい」、そんな思いを持ったのが入構のきっかけです。理系出身の自分にとって、「技術」を軸に国を支えられる点は大きな魅力でした。NITEの仕事は、技術的な側面から産業や社会の基盤を支える役割を担っています。その点に強く惹かれ、ここで働くことを決めました。入構後は約3年間化学センターに在籍し、その後に現在所属する認定センターへ異動しました。

認定センターの主な業務は、試験、校正、認証などの適合性評価活動を実施する機関に対して「適合性評価業務を行う能力がある」という認定を与えることです。例えば、試験事業者登録制度(JNLA)では、試験事業者は、信頼性の証としてロゴを付した試験証明書を発行することができます。認定センターでは、そうした機関に十分な能力があるかを審査しています。加えて、経済産業省からの調査指示に従って、電気用品安全法やガス事業法などの製品安全4法に関わる登録検査機関の調査業務、産業標準化法に基づくJISマーク表示制度に関わる登録認証機関の調査業務も行っており、私は主にこの分野を担当しています。社会の安全や信頼を技術面から支える、責任ある仕事だと感じています。



技術を見極めて信頼を判断する審査の現場

審査業務は申請者からの申請を受けるところから始まります。NITEの事務局で申請書を確認し、問題がなければ審査員による審査が開始されます。書類審査を経て、品質管理体制、設備、試験の手順等を確認する現地審査を行います。その後、会議体などを経て、最終的に認定に関する決定が下されることになります。国からの調査依頼の場合は、NITEの調査結果報告に基づき、国で最終判断がなされます。私は事務局と審査員を兼ねた立場として、書類審査と現地審査の双方に関わっています。

審査を受ける方は最初緊張されていることが多く、なかなか会話が弾まないこともあります。雑談を交えながら進めることで徐々に打ち解けていくことも少なくありません。相手の立場に寄り添い、安心してもらいながら本来の姿を確認していくことも、審査員として大切な役割だと思っています。

様々な業界や立場の方から話を聞けることは、自分にとって非常に刺激的で、この仕事ならではの面白さにつながっています。また、審査にはマネジメント面と技術面の両方がありますが、特に技術審査は分野ごとの専門知識が不可

学生のみなさんへ

NITEは公務員の中でも少し特徴的で、技術分野から国の業務に携わることができます。技術を生かして国を支えたいと考えている方にとっては、うってつけの環境ではないでしょうか。製品安全やバイオテクノロジーなど、幅広い分野があるのも魅力の一つです。技術に興味がある、専門性を生かしたいという方にこそ、ぜひNITEを知っていただきたいと思います。仕事とプライベートを両立しながら、安心して働ける環境が整っている点も大きな魅力です。

欠です。今後は、技術分野の知識をさらに広げ、審査員としての専門性を高めていくことを目標にしています。

支え合う環境でやりがいある仕事に向き合う

プライベートでは、小学校及び保育園に通う2人の子どもがいて、現在は子育ての真っ最中です。息子の誕生に合わせて育児休業を2回に分けて取得しました。NITEでは、男性職員が育児休業を取得することは当たり前の文化になっています。復職後は、妻も一般企業で働いているため、互いに忙しい時期もありますが、協力しながら家庭を支えています。テレワーク制度やフレックスタイム制度を活用できる環境は非常に助かっており、仕事と家庭のバランスを取りながら働くことができています。職場ではチームで業務を進める体制が整っており、誰かが休む際には自然と周囲がフォローに入る文化があります。

仕事と家庭の両立がやすく、安心して力を発揮できる環境の中で、自分の専門である技術分野の仕事に携われていることに、大きなやりがいと幸せを感じています。

電気安全評価分野

先端技術の安全性評価と電力インフラへの安全支援

経済産業省の蓄電池産業戦略や基準認証政策に基づき、大型蓄電池システムの試験評価業務や国際標準化支援等を行っています。また、電気保安に係る事故情報の分析・情報発信等を行い、技術・情報・政策面から持続的な電気保安水準の維持・向上に貢献しています。

1 大型の蓄電池システム

従来の蓄電池はスマートフォンやパソコンに搭載される小型のものが主流でしたが、近年ではスマートグリッド向けの大型の蓄電池システムが多く活用されています。太陽光発電等の再生可能エネルギーで発電された電力の貯蔵、電力系統の周波数調整、電力の需給調整や停電時のバックアップなどを目的としたものです。

NITEは、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大型の蓄電池システムについて、性能や安全性等の試験を行う世界最大級の試験・評価施設「NLAB(エヌラブ)」の運用や、関連する新しい国際標準(IEC)の開発や提案を進めています。民間企業や研究機関から依頼を受け、国際標準に基づいた試験・評価をNLABで行うことにより、大型の蓄電池システムの安全な運用を目指すとともに、市場における我が国の国際競争力の向上に貢献しています。

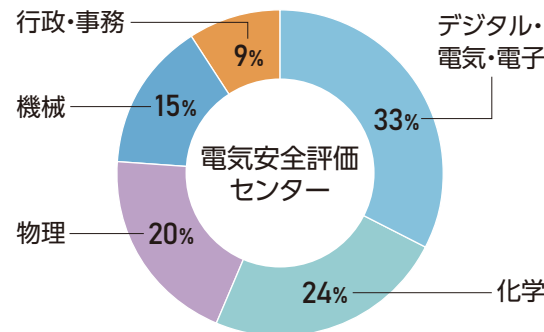
2 電気保安技術支援業務

再生可能エネルギー発電設備の導入が拡大する一方で、昨今の自然災害の激甚化により、電気事業を取り巻く環境は大きく変化しています。

NITEは、電力の安定供給に必要な発電設備等の保安水準を維持、向上させ、国民の安定した生活の維持に貢献するため、国や関係団体等と密接に協力して、次のような規制制度の検討・整備の支援を行っています。

- ・電気工作物の事故情報の収集や事故原因究明調査
- ・再生可能エネルギー設備等に対する立入検査の実施
- ・AIやIoT等を活用して電気保安の安全性向上や効率化につなげる「スマート保安」促進のための技術カタログ作成や制度改正のための国への提言

■試験区分比率



/// NEW TOPICS ///

次世代型蓄電池の開発に貢献

世界的なカーボンニュートラルへの移行に伴い、化石燃料の使用量削減と再生可能エネルギーの導入が進み、新たな蓄電池の開発や既存蓄電池の性能向上のための試験需要が急増しています。NITEは次世代型蓄電池に対応するため、国の支援を受けて新たに先端技術評価実験棟を建設しました。これにより、日本の自動車産業が先導する全固体電池など次世代蓄電池の技術開発と実用化に大きく貢献することが期待されます。



多目的大型実験棟(大阪事業所)



現場で学び、責任を担う。 仕事のリアル

公務員のイメージが変わった出会い

大学では燃焼工学を専攻していて、NITEには2022年に入構しました。もともと就職は公務員を志望していて、大阪で訪問できる官庁を調べていたとき、他が「〇〇省〇〇局」というような堅い名前が並び、アルファベット4文字の「NITE」が目にとまりました。「組織名がアルファベット表記の官庁ってどんな組織なんだろう」と興味を持ったのがきっかけです。公務員の仕事はデスクワーク中心というイメージを持っていたのですが、説明会に参加して、製品安全の事故調査や蓄電池の試験など、身近な製品に関わりながら現場で手を動かす仕事があると知り、ここで働くのは楽しそうだと思います。入構後は電気安全評価センターの蓄電池評価センターに配属され、現在4年目を迎えています。1年目は試験の契約などの総括業務を担当し、2年目から実際の試験業務に携わっています。

蓄電池評価センターでは、民間では対応が難しい大型の定置用蓄電池やEV用電池パックなどの安全性を確認する試験を行っていて、そのうちの一つに民間事業者と行っている共同試験があります。この共同試験は、NITEがすべて



の作業を実施する受託試験でも、事業者任せでもなく、双方が協力して進める点が特徴です。その中で自分は主に耐火性試験、耐震試験、レーザー照射試験などの安全性評価を担当しています。事業者から新しい知識を日々吸収できるため、とても成長が実感できる業務です。

任されることで実感できた仕事の面白さ

今までの経験で特に印象に残っているのは、試験責任者を任された、3週間連続で実施した共同試験です。それまでは一担当者として作業に集中していればよかったのですが、責任者ともなると、試験全体を見渡しながら、安全管理、進捗管理、トラブル対応まで考える必要があり、求められる視点が大きく変わります。長期間の試験では予期せぬ事象も起こり、判断に迷う場面も多く、正直に言うと最初に打診された時の不安は大きかったです。ただ、周囲の職員や事業者の方々に支えられながら、一つひとつ対応を重ね、最終的に無事故で円滑に試験を終え、必要なデータをすべて取得できたときには大きな達成感がありました。最終日に事業者の方から「希望通りのデータが取れて良かった」と感謝の言葉をいただいたときは本当に嬉しかったです。周囲のサポートがあってこそ成し遂げられた仕事で、自分の力だけによる成果ではないとも感じています。

できることが増える＝社会への貢献度が上がる

最近は一担当者として参加するよりも、試験責任者として全体を考えながら進める業務のほうが楽しいと感じるようになってきました。経験を積む中で、技術面だけでなく精神的にも少しずつ余裕が出てきたのではないかと感じています。

2022年入構(試験区分:機械)
電気安全評価センター
蓄電池評価センター

高橋 友樹



ます。責任者の立場では、試験本番では緊張感を持って臨みつつ、準備段階ではチーム内で話しやすい雰囲気をつくるなど、メリハリを意識しています。コミュニケーションが円滑であれば、小さなミスや気づきも共有しやすくなり、安全な試験につながると感じています。

今後は、これまで主に担当してきた試験以外にも、充放電試験や次世代電池に関する評価など、未経験の分野にも積極的に挑戦していきたいと考えています。NITEでは多様な事業者と関わりながら試験を行うため、個々の企業では得られない視点や知見を蓄積できます。そうした経験を生かし、評価基準の整備などを通じて、日本の蓄電池産業全体の発展に貢献していくことが目標です。

学生の
みなさんへ

NITEでは、自分から「やってみたい」と手を挙げることで、様々な試験に参加し、幅広い経験を積むことができます。主担当はありますが、意欲があればそれに限らず挑戦の機会を与えてもらえる環境だと感じています。公務員を志望している方も、現場で技術に向き合いながら社会に貢献したいと考えている方も、ぜひ一度NITEを知ってほしいです。見学の機会があれば実際の現場を見て、自分がここで何をしたいのか、どんな役割を担いたいのかを考えてみてください。

マネジメント分野

各技術分野の業務を支える

マネジメント分野では働きやすい職場となるよう、快適なオフィス環境の提供、ワーク・ライフ・バランスの推進、スムーズで適切な調達の支援、ITインフラの構築・維持などにより、各技術分野の業務を支えています。

1 マネジメントを担う様々な部署

マネジメント分野には様々な部署があり、総務・人事・会計・情報システム等の観点からNITE全体の業務を支援しています。また、戦略立案やデジタル化の推進、戦略的な人材開発により、急速に変化する社会に適應できる組織力と人材力を強化しています。

【経営企画課】業務、組織、予算等の総合的な企画立案・調整など

【広報企画室】NITE全体の広報に関する総合調整・企画立案など

【人事企画課】職員の福利厚生、研修の実施、人材開発、人事配置、給与計算業務、ワーク・ライフ・バランスの推進など

【総務課】施設・設備の営繕、文書管理、法務対応、警備・防災、情報公開など

【財務・会計課】契約管理、資産・物品管理、財務諸表・決算報告の作成など

【イノベーション支援課】イノベーション支援に係る総合調整及び企画立案など

【情報統括課】情報システムの総合的な企画立案・調整・整備、デジタル化推進など

2 NITEの広報活動

NITEでは、活動成果を事業者と国民のみなさまに伝えるための広報活動を行っています。

事業者に対しては、講座の開催等により、新事業の発掘や工業品の品質向上に資するような情報を提供しています。

国民のみなさまに対しては、X(旧Twitter)で日々のトレンドに合わせたタイムリーな投稿を行ったり、YouTubeでNITE職員が自ら制作した動画を配信したりして、くらしの安全に関する情報をお届けしています。

3 NITEの人材開発

NITEでは、共通に身につけたいスキル、部門ごとに必要なスキルを身につけるため、様々な研修を実施しています。

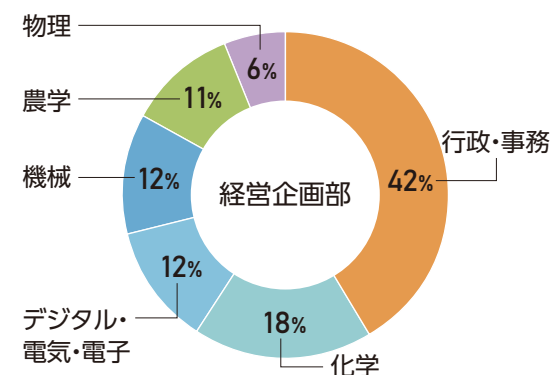
特に若手層の育成は、5年後の主任昇格までに自律的に業務を進めることができるようになることを目的に、入構5年目までの研修プログラムがあります。

入構後最初の1か月ほどの研修では社会人としての基本的なスキルを学び、入構3年目までは同期や先輩職員とのつながりを意識し、自己の成長を確認できるようなカリキュラムを用意しています。それ以降は、キャリア開発研修や後輩との関わりの中で更なる成長を確認し、主任昇格までのサポートをしています。



防音環境でオンラインミーティングができるワークスペース。これらの導入・設置手配も総務課の業務の一つ。

■試験区分比率



NEW TOPICS

「チームNITE」によるイノベーション支援

NITEでは、様々な社会課題に取り組む企業や産業に対して、製品や技術・サービスが適切に評価されるための「ものさし」づくりによってアプローチし、その解決を支援する「チームNITE」活動を行っています。「チームNITE」では、5つの業務分野が持つ知見や経験を結集し、また、全国11か所の事業所による試験研究機関や公的機関等との地域ネットワークの連携を通じて課題に取り組むことで、イノベーションに繋がる製品、技術・サービスの社会への普及に貢献しています。



施設整備は“縁の下の力持ち”、 かつ不可欠な仕事

文系出身でも臆せず入構してよかった

大学では会計学を専攻しており、管理会計のゼミに所属していました。研究を通じて経営者が抱える課題に接し、個々の企業努力だけでは解決できない問題があると感じました。それを機に、行政による企業の支援やオープンイノベーションに興味を持ち、公務員を志しました。

国の政策はマクロな視点から検討、立案されるイメージがあり、遠い存在に感じがちです。その中でNITEに興味を持った理由は、行政執行法人として高い視座に立ちながらも、製品事故の原因究明、蓄電池の安全性試験など、身近に感じられる製品に関わる業務を通して広く社会に貢献できると考えたからです。文系学部出身の私が技術系の組織に就職して良いのか不安でしたが、NITEはOJTや研修制度が充実しており、入構してから知識を身につけることができるため、臆せず入構して良かったと思っています。

2020年入構(試験区分:行政)
経営企画部
総務課

浦 梨紗子



簿記の知識が資産管理に活かされている

私は、総務課の業務の中でも、主に建物管理や施設営繕を担当しています。施設の維持管理は、建築基準法や消防法など建築に関する法令に従って行わなければならない、幅広い知識が必要となるため、継続的な勉強を心がけています。

NITEは税金によって調達を行うため、調達の必要性を十分に検討し、調達後は適正に資産管理を行わなければなりません。将来、資産の処分や更新を行う際には、資産の管理状況を必ず確認するため、勘定科目や耐用年数を整理しておくことが重要となります。資産管理についてはまだまだ分からないこともありますが、大学時代に学んだ簿記の知識が今の仕事に活かしていると思います。

15件の大規模工事を無事完了

サーバー用UPSや高圧ケーブルの更新、外壁改修など、大規模な15件の工事を担当しました。工事を担当する中で、その設備は何のためにあるのか、業務にどんな影響があるのかなどを知り、身が引き締まる思いでした。工事は同時進行だったため、調達スケジュールや現場の調整がとても

学生の
みなさんへ

NITEは、大学での専攻に関わらず、興味のあることにチャレンジさせてくれる職場です。文系出身の方がその強みを活かすこともできますし、技術系の知識を習得して別の分野の業務に就くこともできます。風通しの良い組織で、ワーク・ライフ・バランスも整っています。仲が良く、一緒に遊びに行くこともありますが、逆にお誘いを断っても気まずくなることはありません。少しでも興味がありましたらNITEを覗いてみてください。



各種設備の更新や部屋の
リニューアル工事等にも
携わる

大変でしたが、関係者への説明会を開くなど情報共有を徹底し、仕様作成、現場監理、検収まで全工事を完了させることができました。

また、NITEの全体報告会では、自身の仕事内容や今後の課題について発表する機会をいただきました。全体報告会とは、NITEのそれぞれの分野の仕事について、職員間で共有する場です。普段見ることのない工事現場の写真なども紹介したところ「知らなかった」「これからも頑張る」との声をいただき、とても励みになりました。

施設整備は“縁の下の力持ち”のような役割ですが、NITEが社会価値を提供し続けていくためには、実験施設などのインフラ整備が不可欠です。その一端を担っていることにやりがいを感じます。

技術系にもチャレンジしたい

仕事をする上で大切にしているのは、最新の情報や実態を把握するという事です。前例踏襲で進めるといつか間違いが発生するため、最新規程や法律を見直し、現場の状況を自分の目で見るなど、常に確認するよう努めています。また締め切りを守る、進捗を報告するなど、当たり前のことをきちんとすることも大切だと思っています。それが信頼関係の構築にもつながるのではないかと思います。

今後は、施設営繕に関する研修や勉強会に積極的に参加したいですし、他の職員が学ぶ機会も作っていきたいです。文系出身の先輩方でも、勉強して認定センターの審査員の資格を取った方や、製品安全センターでデータ分析をしている方がおられます。私も技術的な分野にもチャレンジしていきたいと思っています。

女性職員が語る NITEの魅力、働き方

NITEはどんな職場か、どんな仕事をしているのか、働きやすいのか、

プライベートと両立できるのか……

3人の女性職員が語り合いました。



NITEで活躍する女性たち

小杉 私は、大学で微生物を扱った研究をしていたので、微生物の保存・分譲業務を行っている点に興味を持ち、NITEを志望しました。現在の経営企画部 人事企画課では、人件費予算の管理業務を中心に、職員のみなさんのサポート業務にあたっています。中学生と小学生の子どもがいます。

染谷 私は、NITEが技術を通して民間・行政を支援することができること、また分野の異なるセンターで構成されていて、様々な業務に携われることに魅力を感じて入構しました。2023年4月末に育休から復帰し、現在の化学物質管理センター 化学物質同定課では、化学物質の名称に関する業務に携わっています。

高木 私は、バイオ系の大学出身なので、バイオ分野の業務に携わることができることに魅力を感じましたし、説明会等で対応いただいた職員の方々がとても親切で、ここなら安心して働くことができると思いました。今は、バイオテクノロジーセンターの総括業務を行っています。まだ分からないこともたくさんありますが、周りのみなさんが気にかけてくださって、いろいろ教えてくださるのでありがたいです。

若いうちからいろいろな経験ができる

高木 入って2年目のときに、外部の方をお招きした意見交換会の事務局を任せていただきました。先輩が担当されている様子は見てきたものの、いざ自分が主担当となると不安もありましたが、周りの方々に助けていただきながら無事に終えることができました。お二人はいろいろな経験し

ていらっしゃると思うのですが、どんな業務が印象に残っていますか。

染谷 NITEは若いうちからいろいろな経験をさせてくれますよね。私は、化審法に基づく新規化学物質の審査の業務で、審議会に出席したことが印象的です。入構して2～3年目で、経済産業省、厚生労働省、環境省の方々、専門家の委員の先生方を前に、化学物質の安全性について報告する経験をしました。化管法関連では、化学物質の排出管理について事業者と意見交換するために、化学物質を取り扱っているその工場へ出張したこともよく覚えています。通常、化学物質管理センターでは、提出された申請書類などを確認したり、パソコンに向かったりする業務が多いのですが、現場の声を直接伺うことができとても勉強になりました。



小杉 みどり

経営企画部 人事企画課

2005年入構(試験区分:農学)
バイオテクノロジーセンター、
広報室、化学物質管理センター
を経て、2023年7月より
現在の部署。



高木 智代
 バイオテクノロジー
 センター計画課
 2022年入構
 (試験区分:化学)
 センター全体に関わる
 会議や委員会の
 事務局等を担当。

小杉 私も、法令関連の業務が印象に残っています。バイオテクノロジーセンターでも、事業者さんや業界団体の方々から、お困りのことや運用の課題などをお伺いすることがあり、それを踏まえて法令の運用改善に取り組みました。事業者さんの負担を抑えつつ法の目的をどう達成するか、第三者から見て適切となる運用になっているか、その線引きを経済産業省と議論しながら調整していくことが楽しかったです。NITEに入る前は、法律の運用についてあまり意識していませんでしたが、事業者さんに近く、現場の声を反映できるNITEのポジションは重要だと思いました。経済産業省と事業者さんの間に立てるのは、NITEの強みだと感じています。

幅を広げることも、専門性を高めることもできる

高木 NITEには、法律関連やマネジメント系の仕事をしている方も、技術的な仕事をしている方もいらっしゃいますよね。NITEへの就職を決めた時は、理系の知識などを活かせたらいいなと思っていたのですが、みなさん楽しそうにお仕事をされているので、どちらの方向を目指すか迷っています。

染谷 私は、化学物質管理センターで技術的な仕事を経験し、経営企画課ではマネジメント系も経験しました。入構して10年ほどになりますが、私もまだ方向性を決められずにいます。

小杉 NITEは、調整さえできれば希望する部署を経験することもできるし、一つの分野で専門性を高めることもできるので良いですね。私は、最初はバイオテクノロジーセンターで技術的な仕事をしたいと思っていましたが、仕事をしていくうちに、法令業務を経済産業省と一緒に運用していったり、部署がうまく回るようにしたり、マネジメント系のポジションのほうが向いているのかなと思うようになりました。実際これまでやってきたのは、マネジメント系がほとんどですし、人事企画課に異動したのも研修など人材育成に興味があったからです。最近では、働きやすい環境作りや人材育成を行っていくには、NITEで働いてい

次ページに続く→



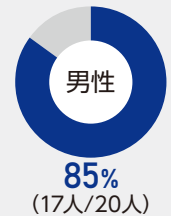
染谷 恵梨奈
 化学物質管理センター
 化学物質同定課
 2014年入構
 (試験区分:化学)
 化学物質管理センター、
 経営企画課を経て、
 2023年4月より
 現在の部署。

■主な育児関連制度

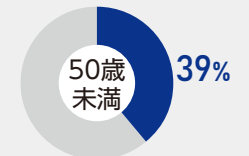
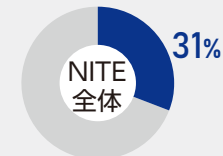
産前休暇	6週間(多胎妊娠の場合は14週間)以内に出産する予定である場合の休暇(出産日まで)
産後休暇	出産した場合の休暇(出生日の翌日から8週間を経過する日まで)
育児休業	3歳未満の子を養育するための休業
育児短時間勤務	未就学児を養育するため、通常より短い勤務時間で勤務すること
育児時間	小学校3年生までの子を養育するため、始業または終業時に1日2時間まで勤務しないこと
早出遅出出勤	未就学児の養育・小学生の放課後児童クラブ等への送迎のため、勤務時間帯を変更すること
育児を行う職員のフレックスタイム制勤務	小学校6年生までの子を養育するため、総勤務時間数を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更すること
在宅勤務	育児により出勤することが著しく困難である場合、通常より柔軟に在宅勤務すること
出生サポート休暇	不妊治療に係る通院等のための休暇(年5日(体外受精等に係る通院等の場合はさらに5日加算))

■育児関連データ

育児休業取得率(令和4~6年度実績)



女性常勤職員比率(令和8年1月時点)



る方々のことをもっと知らないといけないと感じています。お二人は、今やりたいと思っていることはありますか。

高木 そうですね。バイオテクノロジーセンターには専門性の高い職員の方々が多くいらっしゃるの、今はまず、私も専門性を身につけて、センターや社会に貢献できるようになりたいと思っています。

染谷 私は化学物質の名称付与業務のベテラン職員が持っている経験や知見を、見える化することにチャレンジしたいです。また年次が上がっていくと部下を持つことになるので、話しやすい、相談しやすいと思ってもらえるような職員になりたいと思っています。

福利厚生制度を利用するのは当たり前

染谷 NITEは、多くの女性が活躍している職場であることは間違いありませんが、実際NITEで仕事をしていて女性であることを意識したことはありません。お二人はどうですか。

小杉 私も女性だから、男性だからと思って仕事をしたことは全くないですし、そういう扱いを受けている感じもありません。すごくニュートラルな感じですね。

高木 そうですね。入構する前は、管理職の方は男性が多いのかなと思っていたのですが、女性の管理職の方もたくさんいらっしゃいますよね。

小杉 それにお休みも取りやすくて、働きやすいと思います。

高木 そう思います。もうちょっと休みにくい雰囲気かなと思っていましたが、特に夏休みや年末年始などには「進んで休んでください」とみなさん言ってくださいます。周りのお母さん方も、たとえば参観日には時間単位のお休み



を取るとか、制度をうまく活用していらっしゃいます。

染谷 私は、夫もNITEの職員で、育休は二人一緒に一年間いただきました。悩みも共有しながら育てられたし、0歳から1歳の成長をずっと一緒に見られて良い時間だったと思います。サポート体制もしっかりしているので、復帰もしやすかったです。今も、育児時間という制度を使わせていただいているのですが、周りにもママが多くて、当たり前で制度を利用する環境が整っていると思います。

小杉 最近は男性もパパになるとほとんどの職員が育休を利用してはいますよね。私も産休・育休制度を利用しました。妊娠中も体調が悪い時期があったのですが、上司に相談して融通していただいて、体調と相談しながらお仕事ができてありがたかったです。テレワークも含めて、利用することが当たり前で環境ができていところが良いですね。

染谷 そうですね。テレワークは、家事・育児と仕事を両立するうえでとても助かっています。

どんな人にもピッタリなポジションがある

小杉 NITEのポジションが経済産業省とどう違うのかというと、やはり事業者さんに近いことだと思います。現場の声を聴きやすくて、貢献しやすいのがNITEだと強く感じていて、私はNITEに入って良かったと思います。高木さ

んは就職活動が記憶に新しいと思うのですが、どうですか。

高木 就職活動をしているときは、民間か公務員かから考えました。公務員にもいろんな組織があるので、たくさん説明会に行って、いろいろな方とお話をしました。その中で自分の専攻にも合っていて、みなさんの人柄や雰囲気も良かったので、NITEを選びました。管理職の女性比率も高いですし、男女を問わずいろいろなキャリアを目指せる職場だと思います。

小杉 そうですね。NITEはどんな属性の方にとっても働きやすい職場ですね。男性か、女性だけでなく、ご家族の状況、趣味も大切にしたいなど、どういう方にもきっとピッタリなポジションがあります。自分が働いていても、制度面も充実していていいなと感じています。

染谷 小杉さんがおっしゃるように、どんな方でも就けるポジションがあるし、バックグラウンドに関わらず、やりたい業務に挑戦できる機会があります。制度的にも、出産や育児はもちろん、ワーク・ライフ・バランスを大事にしていて方にとっても働きやすいと思います。

高木 今就職活動をしている学生のみなさんも、迷いや不安がいっぱいだと思うのですが、NITEは良い職場なので、ぜひ説明会に来ていただきたいですね。



NITEの役割、私の役割

国民の安全で豊かなくらしを 技術で支える



組織を支え、未来をつくるマネジメント

私は現在、製品安全センターの次長と、北陸支所長を兼務しています。製品安全センターの次長としての役割は大きく三つあります。一つ目は、所長を補佐し、製品事故の発生状況や法制度の動向を踏まえながら、センター全体が円滑に機能するよう人員配置や予算調整を行うことです。二つ目は、業務上のリスク対応などの調整役を担うこと。三つ目は、組織力の向上を目指した人材育成です。北陸支所長としては、製品安全業務に加えて北陸地域の工業技術センター等の公的機関や自治体、国の出先機関と連携し、NITEの知見を地域企業に役立てるイノベーション支援にも取り組んでいます。

豊かなくらしを支える製品安全の最前線

NITEは経済産業省と連携し、法律や施策に基づく技術的な評価・審査を通じて、日本の産業や社会を支える役割を担っています。業務で得られた知見やデータは、産業界だけでなく国民にも還元され、政策理解の促進や国際的なルールづくり、イノベーションの推進にも生かされています。

中でも特に製品安全センターの業務は、国民の生活に直結しています。家庭で使われる製品による火災や事故、けがなどの情報を収集・分析し、原因究明やリスク評価を実施。その結果を社会に発信することで、事故の再発防止や未然防止につなげています。

大きなやりがいと両立できる働き方

製品安全センターの仕事は、危険な製品の回収や改良につながるなど、国民の生活を直接守る仕事です。企業が製品を改善し、安全性が高まることで、社会全体の安心につながっていく。そのプロセスに関われることは、大きなやりがいがあります。私自身、女性が長く働き続けられる環境を重視してNITEを選び、仕事をしながら子どもを育ててきました。現在では、育児休業、時短勤務、フレックスタイムなどの制度が当時よりさらに充実し、女性が活躍している企業に与えられる「えるぼし認定」を取得しています。仕事と家庭のどちらかを優先するのではなく、両立しながら社会に貢献できる。その実感を持って働ける職場です。

1993年入構(試験区分:化学)
製品安全センター/北陸支所
製品安全センター次長/北陸支所長

後藤 恵美子

1993年 入構
2006年 育児休業
2007年
2009年 製品安全センター製品安全企画課
2011年 製品安全センター技術業務課
2013年 企画管理部人事企画課
2018年 経済産業省資源エネルギー庁 出向
2020年 製品安全センター技術基準・規格課 課長
2021年 バイオテクノロジーセンター計画課 課長
2022年 企画管理部人事企画課 課長
2024年 製品安全センター 参事官
2025年 製品安全センター 次長

アンケート

若手職員に聞いてみました

入構1～2年目の若手職員に、志望時のこと、今の職場のことなどを聞きました。

Q1 NITEを志望した決め手は何ですか？

- 公的機関として、技術で社会と人々を支えることができるNITEの仕事に魅力を感じました。
- 技術の視点から行政と現場の橋渡しをする立ち位置が魅力的な組織だと感じました。
- 国民生活の安全を守る側面と、産業による経済成長の両面に貢献している業務に魅力を感じました。
- 我が国の経済産業政策を実行するとともに、国民向けの情報発信も行っているため、幅広く国民生活の向上に貢献できそうで、やりがいがあると感じ、興味を持ちました。
- 公務員として社会に貢献しながら、技術的な専門性を深められる業務に従事できると考え、志望しました。
- 系統の異なる5部門の業務がNITEにはあり、様々な分野について学べると感じました。
- NITEは業務の幅が広く、行政区分でも多様な仕事を体験できると感じたことが決め手です。
- 自身の専門性を活かし、人の役に立つ仕事ができることに加え、NITEには多様なバックグラウンドを持つ方々が所属しており、学びや成長が見込める場だと感じ、志望しました。
- 官庁訪問の際、職員の方々の雰囲気が良く、このような職場で働きたいと感じました。
- ワークライフバランスが整っているとお話や、面接官の雰囲気が良く、一緒に働きたいと思えたことも理由です。

Q4 どんなことに仕事のやりがいを感じていますか？

- 業務で携わっている製品事故の内容がテレビやSNSで流れたとき、NITEの一員として社会に貢献できていることを実感し、やりがいを感じます。
- 知人からNITEが提供しているシステムを活用しているという話を聞き、自身の業務が社会に貢献していることを実感したときにやりがいを感じます。
- 担当案件(事故調査)の報告書を最後まで仕上げ、無事に提出し、案件が完了したときにやりがいを感じます。
- 自分の出した実験データが情報として公開されたとき、このデータを利用してくれる人がいると思うと役立つと感じます。
- 間接的にでも社会に役立っていることが分かったときにやりがいを感じます。認定センターに所属しており、街中で認証マークを目にしたときに特に実感します。
- 化学物質の安全性審査の業務を通じて、人々の安全に貢献できることです。
- 自身の仕事が産業界の支えの一助になっていると感じられたときです。
- 自身の業務を通じて、世の中の製品安全に通じる取り組みに関われているときにやりがいを感じます。

Q2 職場の雰囲気はどうですか？

- 分野によってそれぞれのカラーがあり、全体的に穏やかな雰囲気だと思います。休暇なども取得しやすいと思います。
- 親切な方が多く、質問すると期待以上の情報を教えてくれ、日々勉強になることばかりです。若手の意思を尊重してくれる場面も多いと感じます。
- 特に技術的な話になると、皆さんの熱意があふれ、議論が活発になります。
- 話しやすい雰囲気があり、課の間のコミュニケーションも取りやすく、リモートワーク時にも円滑にやり取りできていると感じます。
- 困ったことがあったらすぐに相談できる雰囲気があり、自分の意見も受け止めてくれる風通しのよい環境だと思います。
- 様々なバックグラウンドや専門知識を持った方が集結していて、それぞれの得意分野で活躍されている印象です。
- 新しいことに挑戦することを後押ししてくれる職場だと思います。
- フレックスタイム制度や在宅勤務制度などを取り入れ、ライフステージに応じた働き方を選択している先輩が多く、長く勤められる職場だと感じています。

Q3 入構前後のギャップはありましたか？

- 所管している分野の幅が広いことは事前に認識していましたが、一分野に限っても想像以上に業務が多岐にわたっていました。いろいろな仕事に挑戦できると思います。
- 行政区分で試験を受けて入構したので、事務業務が多いと想像していましたが、実際には現場で業者の方と相談しながら進める業務も多く、多くの知識や経験を積み、成長できることが良いと思います。
- 様々な経験や知識を持った方がいるため、話を伺う中で気づきや刺激を受けることが思っていた以上に多いです。
- 想定以上に多様な知識が必要なのにギャップを感じました。その分、成長の機会が多くあります。
- DX推進が進んでいたことです。今までの知識では追いつけないので、追加で勉強する必要があると感じています。NITEには勉強を後押しする環境が整っているので助かっています。
- 入構前のイメージと違ってフラットな環境で、様々な立場の方と交流する機会がありました。
- 公務員ということでお堅いイメージがありましたが、良い意味でくだけた雰囲気があり、居心地が良いです。
- 大きなギャップは感じませんでした。説明会などで感じていたとおりの職場だと思います。

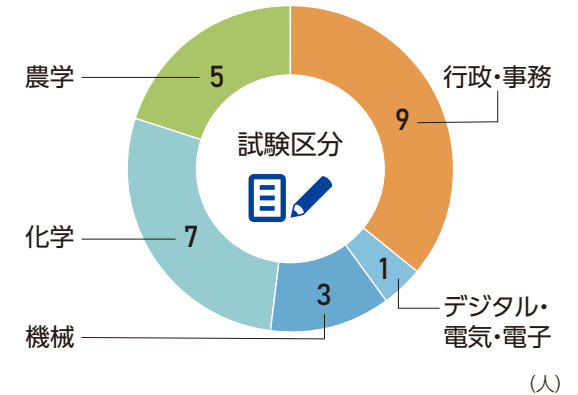
Q5 任せられてうれしかった仕事は何ですか？

- 製品事故調査を任せられたときです。関係者と協力しながら、実際に製品を調査し、原因を突き止めるまでやり遂げたときに充実感を覚えました。
- 製品事故リスク低減のために事業者へ送付する資料の作成を担当したことです。
- 再生可能エネルギー設備への立入検査に関係した技術的な業務です。まだまだ勉強中ではありますが、太陽光パネルの土台の構造解析に携わらせてもらっています。
- 審査員として試験事業者の技術審査を担当したことです。自分の業務が日本の産業発展につながっていることを実感できました。
- 経済産業省の事務局として携わった審議会で、運営の担当を任せていただいたことです。
- 給与業務を担当しており、1年目から職員の給与支給に必要な決議書類の作成をメインで任せられたことです。
- 事業者の方の見学対応です。部門の紹介プレゼンや製品安全に関わる展示品の紹介を担当させていただきました。
- 動画の作成を若手みのグループで進めたとき、自分が貢献できた部分が大きかったので、プロジェクトを進めた達成感を得られました。
- 説明会の講師です。それまで人前で発表する機会は少なかったため、60人の事業者様の前で講師役を務めることに緊張しました。そのため、相手に伝わるよう何度も発表練習をしました。無事に役目を終えることができ嬉しかったです。

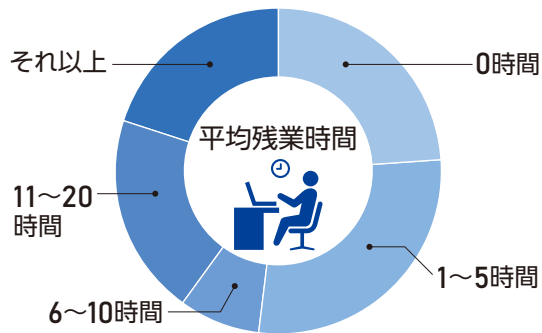
Q6 学生へのメッセージをお願いします。

- NITEには、若手職員から様々な経験ができる環境が整っています。技術面から社会を支えているという実感が得られる、とても良い職場です。ぜひNITEの説明会に参加し、興味を持っていただけたら嬉しいです。
- NITEは聞きなじみのない名前かもしれませんが、気づくといろいろなところで目にしますので、ぜひ意識してみてください。
- 社会に出ると、誰でも失敗することがあります。でも、NITEには支えてくれる人、相談に乗ってくれる人が必ずいます。安心して挑戦できる職場だと思います!
- 意外なところで、自分のやりたいことと合う業務があるかもしれません。幅広い業務が魅力の一つなので、ぜひ様々な分野を覗いてみてください。
- NITEは成長したいという意思を後押ししてくれる環境が整っていると思います。「こういうことがしたい」ができる職場だと思うので、ぜひ選択肢の一つに加えていただければと思います。
- 学生時代に法律を学んでいた方は、NITEでも重宝されると思います。本省や地方部局とは異なる立ち位置が行政執行法人だと感じます。自信をもって門をたたいてください。
- NITEは様々な分野の業務に携わることができる魅力的な組織です。理系の方が多い職場ですが、文系の私でも組織の一員として貢献できていると感じています。今後もNITEのことをもっと知っていただけたら嬉しいです。

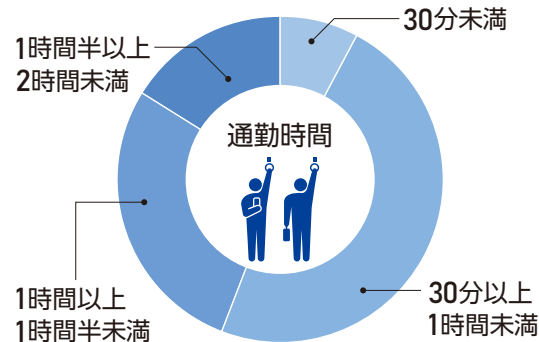
Q7 試験区分を教えてください。



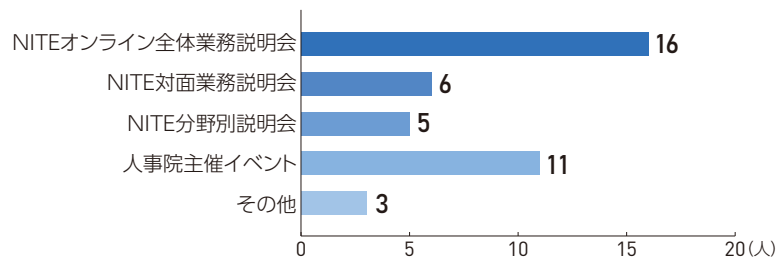
Q8 毎月の平均残業時間を教えてください。



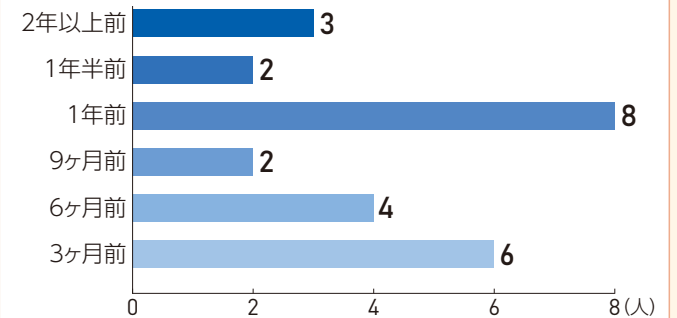
Q9 通勤時間を教えてください。



Q11 参加して良かったと思うイベントを教えてください。



Q10 公務員試験対策開始時期を教えてください。



採用関連Q&A

NITEについて

Q 独立行政法人について教えてください。

A 独立行政法人とは、国民生活や社会・経済安定などに必要な事務や事業を中央省庁から独立して効率的かつ効果的に実施するための機関です。また独立行政法人のうち、国の行政事務と密接に関連した事業を正確かつ確実に執行することが求められる機関を行政執行法人といいます。

NITEは、経済産業省所管の行政執行法人であり、職員の身分は国家公務員です。

採用について

Q NITEの業務と関係の無い大学等の専攻でも採用されますか？

A NITEの業務に直結する専攻以外の方も多く採用しています。NITEは非常に様々な業務を行っており、職員のバックグラウンドも多彩です。多様な人材を求めていますのでぜひ官庁訪問等にご参加ください。

Q これまで採用実績の少ない試験区分でも採用されますか？

A NITEでは多様な人材を求めており、一般職(大卒程度)の全ての試験区分から採用を行っています。採用実績は気にされずに官庁訪問等に積極的にご参加ください。

Q 勤務地について教えてください。

A 3分の2以上の職員は東京(本所)での勤務です。全国に支所もありますが、ほとんどの職員は東京、千葉、大阪で勤務しています。

就労環境について

Q 勤務時間について教えてください。

A 1日の勤務時間は7時間45分です。フレックスタイム勤務制やテレワーク制度等を利用し、自身に合った働き方が可能です。

Q 残業の状況について教えてください。

A 業務の忙しい時期などに残業をしていただく場合があります。令和6年度の1か月当たりの平均残業時間は約11時間で、勤務後に習い事等で充実したプライベートを過ごしている職員も数多くいます。

Q 休暇について教えてください。

A 年次休暇(有給休暇)や特別休暇など国の制度に準じた様々な休暇の制度があります。年次休暇は1年間に20日付与され、平均使用日数は約15日と多く利用されており、公私ともに充実した生活が送れます。

Q 福利厚生はどうなっていますか？

A NITEは国家公務員共済組合に加入しています。傷病に際しての療養費の給付、出産に際しての出産費給付等様々な給付制度をはじめ、退職年金制度、貸付制度など職員とその家族の生活のための制度が用意されています。

Q 研修制度はありますか？

A 入構直後の新規採用職員研修の他に、階層別職員研修や、業務に応じた各種専門研修、キャリア開発研修等があります。また、職員が自発的に取り組む自己啓発研修の支援も行っています。

Q サークル等の活動はありますか？

A 有志による野球、バドミントンやテニスの活動など職員間の懇親を深める場が数多くあります。野球は渋谷区の大会にも出場しています。

給与について

Q 初任給はいくらですか？

A 東京に勤務する場合、大卒で月額278,400円、院卒(修士課程)で290,400円(2026年1月時点 地域手当含む)です。この他に家族、住居、通勤状況等に応じて、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。また、期末・業績手当(いわゆるボーナス)が年2回支給されます。

人事企画課長から



2001年入構(試験区分:物理)
経営企画部
人事企画課

常見 知広

NITEの採用パンフレットをご覧くださいありがとうございます。興味のあるお仕事はありましたでしょうか？

私たちNITEは、「製品安全分野」、「化学物質管理分野」、「バイオテクノロジー分野」、「適合性評価推進分野」そして「電気安全評価分野」において、国民・社会における安全の確保や信頼性の向上に貢献する組織です。

独立行政法人の中でも国家公務員型(行政執行法人)の立場で「産業界などの現場」から「国の政策立案の現場」そして「政策の実行」に至るまで幅広く活躍し、これらの間をつなぐ架け橋役も担っています。

この役割を果たすため、私たちNITEでは「産業界や学会のニーズ・シーズを聞き取る力」、「安全性・信頼性に関する専門的技術力」、「国の政策や制度への企画・提案力」、「社会実装を行う実行力」、そして、「組織の経営基盤(情報基盤、DX推進、企画、会計、総務、給与等)を支える力」など、それぞれの能力を活性化して活躍する多様な人材を求めています。

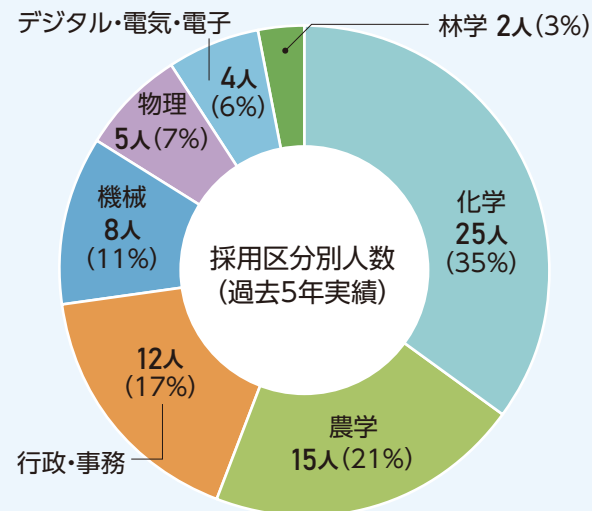
NITEにはこのような職務に必要な知識や能力を磨く研修や業務を通して自らを成長させていくための環境とワーク・ライフ・バランスの取れた環境があります。

近年、社会は急速に変化しており、国民や産業界から行政に求められるニーズが早いスピードで変化しています。これに即応するため私たちNITEは常に進化し続ける必要があります。

我々と環境の整ったNITEで、時代時代に応じて社会に貢献し続けるために一緒に進化していきませんか。

みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

採用実績



区分	人数
化学	25
農学	15
行政・事務	12
機械	8
物理	5
デジタル・電気・電子	4
林学	2
総計	71

※試験区分ごとの人数は実績であり、上限ではありません。
試験区分にとらわれず採用を行っています。

独立行政法人 製品評価技術基盤機構
〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-49-10
TEL.03(3481)1921 FAX.03(3481)1920
<https://www.nite.go.jp>



ホームページ

採用担当：人事企画課
TEL.03(3481)0952
Mail. saiyou@nite.go.jp
<https://www.nite.go.jp/nite/saiyou/index.html>



採用ページ